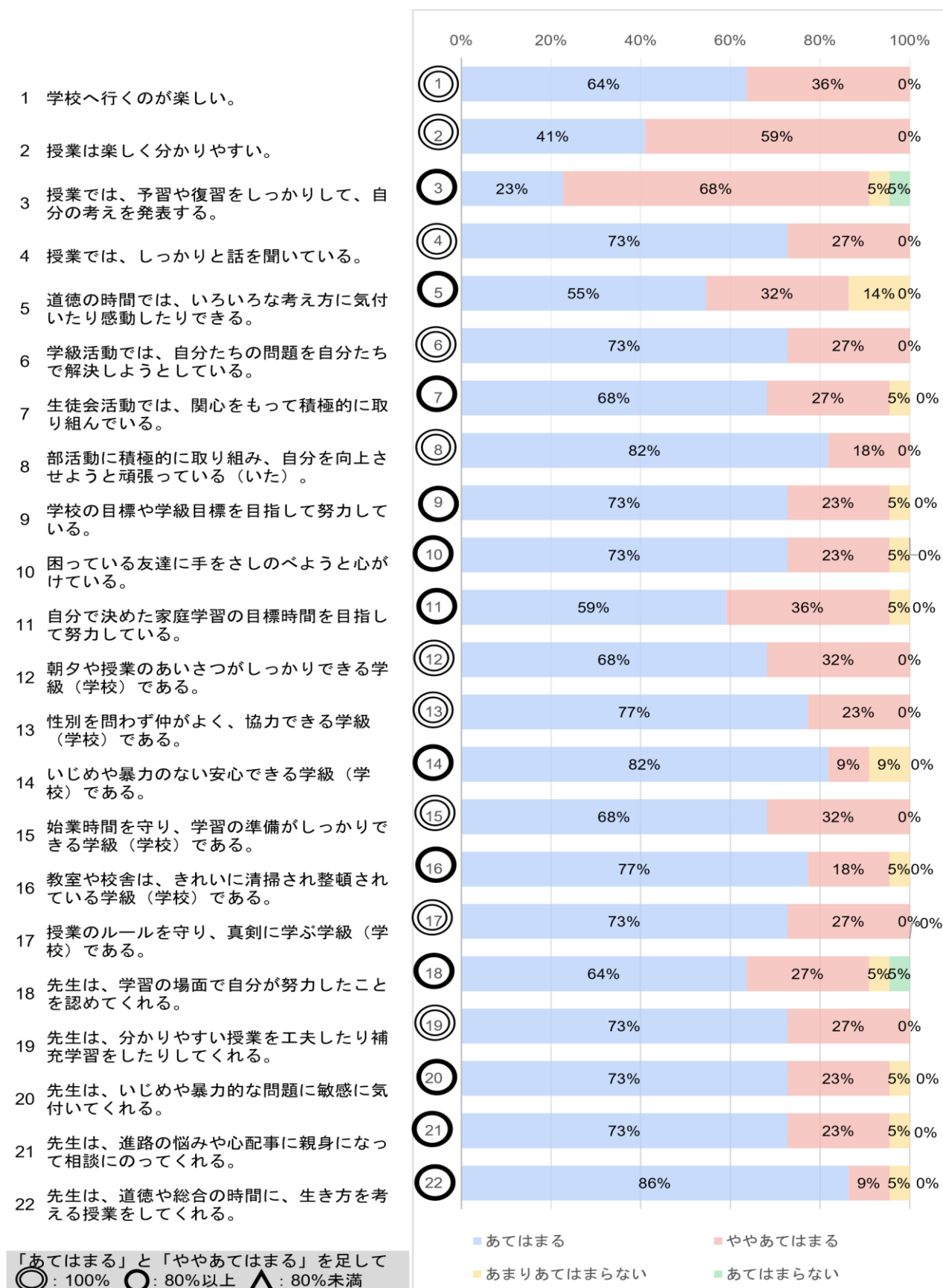
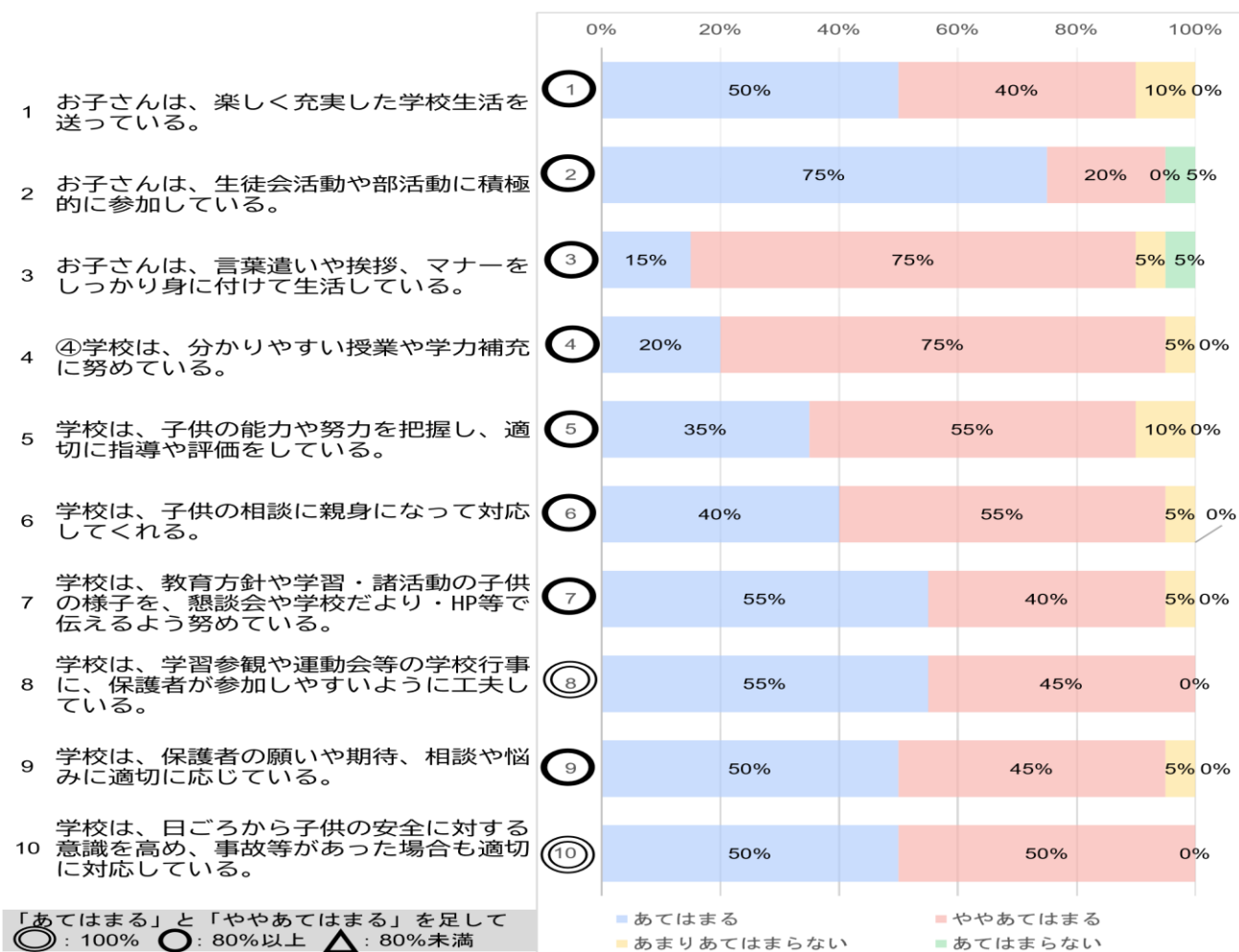


学校評価アンケートの結果（R7.7 全生徒）



学校評価アンケートの結果（R 7. 7 全保護者）



7月に実施した学校評価アンケートの結果では、『あてはまる』と『ややあてはまる』を足して90%を超える項目がほとんどで、生徒も保護者も、1学期の活動を肯定的にとらえていることが分かります。本校の教育活動について多大な理解をいただいていることに深く感謝申し上げます。

生徒の項目3「授業では、予習や復習をしっかりと、自分の考えを発表する。」や項目11「自分で決めた家庭学習の目標時間を目指して努力している。」では、80%を下回っている学年もあり、学習習慣の定着や学習意欲に不十分さを感じ、自分の意見や思いを表現しきれない生徒の姿が見えます。「できる」「分かるようになりたい」「もっと知りたい」という生徒の課題意識を高め、「もっと考えたい」と振り返り、家庭学習へとつなげるよう、授業改善をさらに推し進めます。

保護者の項目1「お子さんは、楽しく充実した学校生活を送っている。」については、学校として重く受け止めています。生徒が「この学校で学べてよかった」と思える学校を目指し、生徒会活動を中心に、小中合同の行事や地域との連携行事で生徒の自己決定できる場面を大切に、生徒の自己有用感を高めます。また、項目6「学校は、子どもの相談に親身になって対応してくれる。」、項目9「学校は、保護者の願いや期待、相談や悩みに適切に応じている。」について、定期的な生活アンケートや教育相談等を通じた相談できる場の設定、学級や学年での活動や授業等を通じた生徒と先生の信頼できる人間関係づくりを積極的に進めていきます。また、2学期もスクールカウンセラーによる全校生徒への面談も計画的に行っていきます。

自由記述では、本校の教育活動に対する温かい励ましの言葉をいただき、感謝申し上げます。また、通学手段の確保の問題等のご意見もいただきました。

保護者の皆様、学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。